

※この試算はある一定条件の仮定の下に機械的に行ったものです。地方財政は国の政策に大きく左右されるので、今後の政府の方針や制度改革等により数値は変動していきます。

中期的な財政収支の試算 (平成18年11月時点での試算)

歳入

(単位：千円)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22
市税	3,155,759	3,161,067	3,321,160	3,363,619	3,351,818	3,398,616
地方交付税	8,390,251	8,632,888	8,417,066	7,735,283	7,425,872	7,113,986
市債	3,610,400	2,068,400	3,392,900	2,609,400	1,983,400	2,144,200
その他	8,494,787	4,594,562	4,901,726	4,672,606	4,034,585	4,233,688
歳入合計	23,651,197	18,456,917	20,032,852	18,380,908	16,795,675	16,890,489

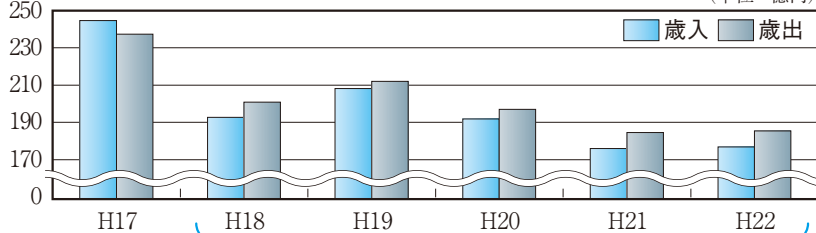
歳出

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22
人件費	5,160,078	4,695,696	4,596,899	4,524,687	4,414,999	4,267,834
扶助費	1,240,475	1,781,252	1,781,252	1,781,252	1,781,252	1,781,252
公債費	3,697,666	3,798,256	3,856,399	3,733,349	3,674,618	3,599,298
投資的経費	5,795,202	2,968,601	4,372,409	3,078,432	2,023,631	2,302,631
その他	7,024,671	6,025,529	5,789,907	5,774,793	5,740,509	5,769,889
歳出合計	22,918,092	19,269,334	20,396,866	18,892,512	17,635,009	17,720,904

歳入歳出差引	733,105	▲812,417	▲364,014	▲511,604	▲839,334	▲830,415
--------	---------	----------	----------	----------	----------	----------

歳入と歳出の推計グラフ

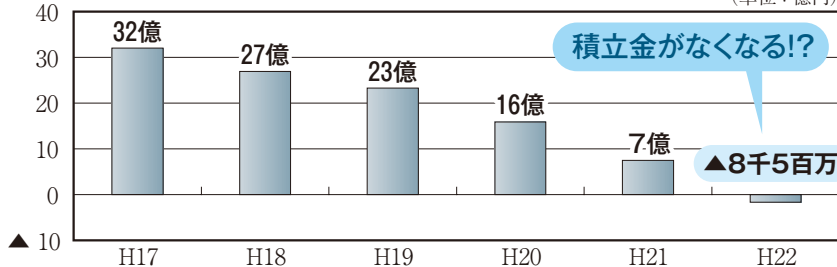
(単位：億円)



収入が不足する分を積立金(預金)で穴埋めします

取り崩し可能な積立金の推計

(単位：億円)



原因として人件費や公債費(借金返済)の負担が大きいことだけでなく、国民健康保険や介護保険といった医療や介護に対して、市が負担しなければならぬ経費も増加していくことがあげられます。歳出の伸びが予想されるなか、最大の財源である「地方交付税」は削減される方向性が示されています。人口減少が続く、景気の回復もあまり見えてこないこの地域の現状では「市税」の増加は期待

た。上記の表は、行財政改革に取り組まず、現在の行政運営をそのまま継続していくと仮定した場合の財政収支の試算です。この試算表を見ると、平成18年度から毎年の収支は赤字になります。

現在の国東市は、さまざまな問題を抱え、財政危機に直面しています。国東市は、7月に国東市行財政改革推進本部を設置し、行財政改革プランの策定に着手しました。今回、市の現在と未来を考えるため、国東市の台所事情について、「このまま何の対策もしなかつたらどうなるか?」という視点で予測を行いました。

中期的な財政収支の試算をお知らせします

このままでは
4年後、市の財政が危機的状況に